学校番号	3005

令和２年度　工業科（グラフィックデザイン系）

教科	工業	科目	グラフィックデザイン実習	単位数	６単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	自作プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

グラフィックデザイン実習は、単に与えられた問題や課題を手順に沿って学ぶだけのものではありません。それらで得た技術や知識を活かし、自らが問題や課題を見つけだし、自分なりに答えを求め考えようとする意欲や姿勢を身に着けることに主眼を置いています。また、グラフィックデザインについて総合的に理解し、グラフィックデザインを通して学び得る力で産業界を支える人材育成が目標です。それぞれのパートでグラフィックデザインの難しさや素晴らしさを学んでください。

2　学習の到達目標

グラフィックデザインに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、現代社会におけるグラフィックデザインに求められている意義や役割を理解させるとともに、表現方法及び知的財産権等に配慮しつつ、さまざまな角度から物事を捉える姿勢を身に着け、主体的に新しい価値観の創造と提案をおこない、社会の発展や改善を図ることのできる能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	グラフィックデザインに関する課題について関心をもち、その改善･向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	グラフィックデザインに関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	グラフィックデザインに関する基礎的･基本的な技術を身に付け、環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	グラフィックデザインに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における工業の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 制作品 観察記録表 レポート、発表 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ワークシートの記述 制作品 観察記録表 レポート、発表 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 制作品 観察記録表 レポート自己評価・相互評価　等	学習状況の観察 ワークシートの記述 制作品 観察記録表 レポート、発表 自己評価・相互評価等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

ローテーション	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
パート1	DTP2	・組版のルール ・ページレイアウト ・文字の種類 ・組み方 ・校正	◎	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ◎	a:組版の仕組みや、編集レイアウトに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b: 禁則処理や組版に関わる用語を理解し、編集手順や作業効率を高める計画を立てることができる。 c: 編集デザインにおけるコンピューターの役割について理解し、文字、図形、画像などの原稿をデジタル化する能力が身に付いている。 d: 指示に沿い、決められた時間内に規則に則り、適切に編集作業を行うことができる。	学習状況の観察 ワークシートの記述 制作品 観察記録表 レポート、発表 自己評価・相互評価 等
パート2	撮影技術2	・デジタルカメラの使用方法 ・一眼レフカメラのの基本設定、基本操作を学ぶ ・光のコントロールや画角の基礎知識を習得する ・静止画像の基本撮影技法、基本編集技法を習得する ・動画の基本撮影技法、基本編集技法を習得する	○ ○ ○ ○	 ◎ ◎	 ○ ○ ○	○ ○ ○	a:一眼レフカメラの構造、シャッターと絞りの構造、測光の仕組み適正露出などの基本知識を理解している。 b: 基本操作を習得することによって、一眼レフカメラの基本設定や露出など撮影手順や作業効率を高める計画を立てることができる。 c:ライティングの基本、静止画像撮影、動画撮影の撮影技法を身につけ、効果的な表現や編集を工夫している。 d: 指示に沿い、決められた時間内に規則に則り、適切に編集作業を行うことができる。	学習状況の観察 ワークシートの記述 制作品 観察記録表 レポート、発表 自己評価・相互評価 等

パート3	映像	・画像サイズ、アスペクト比、、フレームレート、等のデジタル映像に関する基本事項を理解する。 ・シナリオに基づいた絵コンテを描き、撮影計画（シーン・カット）をたてる。 ・カメラの基本操作・撮影技法、三脚、ドリーの使用法を理解し計画に従って撮影する。 ・編集機へのデータの取り込み、計画に従って編集する。 ・出力形式について理解し、適切な方法での映像配信ができる。 最後に、完成作品を発表し、そのねらいを説明し、互いに評価し合うことで、各々の表現能力を高める。	◎ ○ ○ ○ ○	○ ◎ ○	◎ ○	◎	a:目的を基に写真やコンピューターなど映像メディアの特性を生かして表現することに関心をもち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:映像メディアの特性を踏まえ、目的を基に主題を生成し、視点や動きなど視覚的要素を工夫して表現の構想を練っている。 c:カメラやコンピューター、プロジェクターなどの様々な用具の特性を理解し、効果的な表現方法や編集を工夫して表現している。 d:映像メディア表現の特質や視覚的効果を生かした独自の表現効果などを感じ取り、作品の主題や作者の表現意図、効果的な表現の工夫などを読み取り、作品や作者について理解している。	学習状況の観察 ワークシートの記述 製作品 観察記録表 レポート、発表 自己評価・相互評価　等
パート4	印刷2	・ 紙捌き、紙揃え ・ 断裁 ・ 調肉 ・ オフセット印刷機の基本操作	○	○	○	○	a: 紙の扱いについて、それぞれの性質に応じたテクニックを習得する。 b: 断裁機の操作法を学び、サイズ合わせ、化粧断ちなど製本技術の初歩を習得する。 c: インキの取り扱いについて、硬さの調整、混色の技術を習得する d: ハイデルベルグ GT05200 を操作し印刷機の調査法を習得する。また、この印刷法の原理を理解し、フルカラー印刷の現場で通用する知識と技能を体得する。	・ 学習状況の観察 ・ 作品の評価 ・ 実験レポートの評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。◎は、その中でも特に重点的に評価を行う観点である。